



# 一小学校だより

令和7年10月1日号  
日野市立日野第一小学校  
校長 小川 真由美  
TEL 042-581-0061



学校ホームページ



## 読書の効用 ～本を手にとって 読んでみよう～

校長 小川 真由美

朝晩は気温が下がり、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

先月の学校公開には、多くの保護者の皆様に参観していただきました。また、セーフティ教室や学校保健会にもご参加いただき、学校外での子供たちの様子や安全についての貴重なご意見を聞くことができました。ありがとうございました。

10月18日（土）の運動会に向けて各学年の練習が始まりました。これから練習を重ね、動きを習得し、声もそろってきて、よりよい演技をしたい、勝ちたい等、運動会に向かって一人一人の気持ちが高まっていくことと思います。通常の学習活動と違うことが多いため、戸惑いを感じたり、気持ちの折り合いをつけにくかったりする子供もいます。運動会に向けた歩みもそれぞれ異なります。ですから結果だけではなく、当日を迎えるまでの過程を子供たちに寄り添いながら見守っていただきたいと思います。学校でも一人一人の頑張りを認め、励まし、達成感を味わえるように指導をしています。また、保護者の皆様には子供たちの健康管理についてどうぞよろしくお願いします。

さて、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋とともに、読書の秋とも言われます。「読書の秋」の由来は中国の唐時代の詩人 韓愈（かんゆ）が読んだ漢詩から、「燈火（とうか）親しむべし」という言葉がやがて日本に伝わり、“秋の夜は灯りをともして読書をするのにふさわしい”というイメージになったと言われています。夏目漱石が小説「三四郎」でこの漢詩を引用したことで広がり始めたという説もあります。また戦後始まった「読書週間」の影響も大きかったと言われます。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という目的で始まった「読書週間」は10月27日（月）から11月9日（日）までです。学校では先週末までの2週間を読書旬間とし、読書にまつわる様々な取り組みを行いました。この取り組みをきっかけに読書の習慣化につながるよう、本をより身近に感じてもらいたいと考えています。

### 読書の効用

- ・知識や教養が身に付く
- ・語彙が豊かになる
- ・コミュニケーション力が向上する
- ・文章を書く力が向上する
- ・想像力が豊かになる
- ・いろいろな価値観を知り、視野が広がる

「読みたい本がない」「何を読んだらいいかわからない」という時には、学校司書の先生に相談してみることをすすめています。

この機会に短時間でもいいので子供と本について話したり、一緒に読書に取り組んだりしてみたいかがでしょうか。